

2020年度 稲魂賞受賞者

記

No.	区分	氏名・団体名	学部・研究科	内容
1	個人	森 唯人	創造理工学研究科	校友会奨学生で、2020年度副総代となった。
2	個人	内田 太郎	人間科学研究科	校友会奨学生で、2020年度副総代となった。
3	個人	菅 達彦	法学部	第4回国際取引法エッセイ・コンテスト(学生の部)において最優秀賞を獲得した。
4	個人	高谷 健人	社会科学部	「早稲田ボランティアプロジェクト狩り部」において部長を務め、「学生による、狩猟を通じた社会貢献」という先進的な試みで成果を上げ、地域活性化にも貢献した。
5	個人	幌村 尚	スポーツ科学部	FINAスイミングワールドカップ2019競泳東京大会 男子200m バタフライにおいて優勝を果たした。
6	個人	鈴木 梨羅	スポーツ科学部	2018 FISU WORLD UNIVERSITY CHAMPIONSHIPS ウェイトリフティング女子48kg級において優勝を果たした。
7	個人	平塚 弘喜	政治経済学部	第9回APLUアジアパシフィック選手権大会(男子)において優勝を果たした。
8	個人	吉見 彩	スポーツ科学部	第9回APLUアジアパシフィック選手権大会(女子)において優勝を果たした。
9	個人	青柳 雄大	教育学部	講演活動、政治活動、マスメディアを通しての啓発活動を行うとともに、「できること会議」プロジェクトを設立した。
10	団体	漕艇部	—	第47回全日本大学選手権大会にて、3年連続の女子総合優勝を果たした。
11	団体	バレーボール部	—	第73回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 ミキプルーンスーパーカレッジバレー2020にて、4年連続8回目の優勝を果たした。
12	特別賞 個人	羽生 結弦	2020年人間科学部	在学中もソチ五輪金メダルをはじめ数々のタイトルを獲得し、2020年2月には四大陸選手権の優勝により男子選手初のスーパーラムを達成した。また、世界的なアスリートとして活躍しながら学業にも力を注ぎ、2020年9月に本学を卒業。その文武両道の活躍により、早稲田大学の在学学生はもちろん、多くの校友に広く感動を与えた。
13	特別賞 団体	わせまちマルシェプロジェクト ●代表出席者 木暮 美季 森田 善乃	2017年法学部 2015年社会科学部	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出や早稲田大学のオンライン授業実施により危機に瀕した早稲田大学近隣商店街を支援するECサイト「わせまちマルシェ」を立ち上げた。広く援助を呼び掛け早稲田の街を守るための大きな助けとなるとともに、学生・校友と近隣商店街との絆を強くした。

以上